

早生温州ミカンのマルチ栽培樹での被覆除去時期

〔要約〕 早生温州ミカンのフィルムマルチ栽培樹では、11月上旬以降に被覆除去した方が果実品質に対する影響は小さい。

長崎県果樹試験場・常緑果樹科

専門

栽培

対象

果樹類

分類

指導

平成7年度長崎県果樹試験場業務報告

〔背景・ねらい〕

フィルムマルチ栽培では、収穫時まで被覆しているため施肥時期が遅れ、樹勢の低下が懸念される。そこで、果実品質に影響しない被覆除去時期を検討する。

〔成果の内容・特徴〕

- ① 10月上旬に被覆除去した場合、被覆区と比べ、糖度はやや低くなり、酸含量はあまり変わらない。灌水すると糖度、酸含量はさらに低下する。
- ② 11月上旬に除去した場合、被覆区と比べて、糖度、酸含量ともに変わらない。また、11月上旬に灌水をしても糖度、酸含量ともあまり差は見られない。

以上のことから、11月上旬になると被覆除去をしても品質に影響しないと思われる。

〔成果の活用面・留意点〕

強い乾燥ストレスがかかっている場合は、収穫後に灌水、灌注などを行う。

[具体的データ]

第1表 被覆除去時期と‘原口早生’の収穫時の果実品質（1995年11月14日調査）

処 理 区		糖 度	酸 含 量 (g/100ml)	浮皮果指数	着色歩合
10月上旬除去	無灌水	11.9	1.10	1.7	10
	灌 水	11.5	1.02	6.6	9.7
11月上旬除去	無灌水	12.4	1.10	5.0	10
	灌 水	12.1	1.10	5.0	10
被 覆 区		12.5	1.13	3.3	9.8

被覆時期：7月下旬，被覆資材：ネオESシート

[その他]

研究課題名：温州みかんの高品質果実生産技術の確立試験

予算区分：県 単

研究期間：平成6年～8年

研究担当者：中里一郎，岸野 功

発表論文など：平成7年度長崎県果樹試験場業務報告

残された問題点：10月中下旬に除去した場合を検討する必要がある。